

1 次の文章を読み、問いに答えなさい。

トルコ(テュルク)系諸族は、古くは中央ユーラシアの草原地帯に暮らす騎馬遊牧民⁽¹⁾であったが、より広くさまざまな地域の歴史にも大きくかかわっている。

モンゴル高原の騎馬遊牧民は、古来、中国王朝とたびたび対峙してきたが、そのなかには6～8世紀の突厥や8～9世紀のウイグルといったトルコ系国家も見られる。9世紀半ばに遊牧国家としてのウイグルが崩壊すると、その一部はモンゴル高原を離れてタリム盆地に移住した。⁽²⁾

中央ユーラシアの草原地帯はカスピ海や黒海の北岸を經由してヨーロッパにも接続しており、トルコ系諸族の活動は中欧・東欧にもおよんでいた。⁽³⁾

西アジアでは、イスラームに改宗したトルコ系騎馬遊牧民出身者が政治的・軍事的に大きな役割を担った。近世・近代のオスマン帝国や現代のトルコ共和国の存在はその延長線上に位置づけることができる。⁽⁴⁾⁽⁵⁾

トルコ系諸族はヒンドークシュ山脈を越えて南アジアにも姿を現していた。特に10世紀末からはトルコ系イスラーム教徒の勢力が繰り返し侵入した。南アジアの文献ではトルコ系諸族は「トゥルシュカ」と呼ばれている。⁽⁶⁾

問1 下線部(1)について、遊牧という生業と、騎馬技術にともなう軍事的特徴とを説明しなさい。

問2 下線部(2)について、(ア)この移住がウイグル人自身とタリム盆地社会の双方にもたらした変化を説明しなさい。また(イ)ウイグル人に西アジアの文字文化を伝えた民族の名、および(ウ)ウイグル文字を源流とする文字のうち16～17世紀にかけて成立した文字の名を答えなさい。

問 3 下線部(3)について、(ア)7世紀にバルカン半島で建国したトルコ系民族の名を答えなさい。また中央ユーラシアから到来したのはトルコ系に限らないが、(イ)6世紀頃から中欧・東欧で活動し最後はフランク王カールに敗れた民族の名と、(ウ)10世紀に東フランク王オットー1世に敗れた民族の名、およびこの民族がキリスト教化したのちにドナウ川中流に建国した王国の名を答えなさい。

問 4 下線部(4)について、(ア)9世紀のアッバース朝カリフはマムルークと呼ばれるトルコ系の人びとを数多く登用した。マムルークとはどのような人びとで、当時のカリフ政権の盛衰にどのようにかかわったかを説明しなさい。また(イ)16世紀のイラン高原において、トルコ系騎馬遊牧民の軍事力に依拠して成立した王朝の名と、この王朝の君主が採用した王の称号を記しなさい。

問 5 下線部(5)について、オスマン帝国の君主はトルコ系イスラーム教徒だが、その住民の民族的・宗教的構成は多様だった。(ア)このような帝国を維持するためタンジマート改革期とアブデュルハミト2世専制期にとられた政策を説明しなさい。また(イ)トルコ共和国期になると、領土が縮小し住民構成が大きく変容したことを反映して、どのような国家が目ざされたかを説明しなさい。

問 6 下線部(6)について、(ア)13世紀以降、トルコ系を中心とするイスラーム教徒諸王朝が本拠地をおいた北インドの都市の名を答えなさい。また(イ)16世紀に北インドを征服した中央アジア出身の君主が、トルコ系言語で著した回想録の名を答えなさい。

2 次の文章を読み、問いに答えなさい。

英語の“dictator”(独裁者)という言葉は、古代ローマの独裁官(ディクタトル)を語源とする。共和政ローマの独裁官は、本来、非常時に指名される正規の官職であった。⁽¹⁾しかし、前1世紀の内乱時になるとこの官職は独裁的な性格を帯びるようになり、独裁官カエサルは共和派により暗殺された。内乱を終わらせたオクタウィアヌスは、養父カエサルとは異なる形で独裁権力を確立することになる。⁽²⁾

内外の危機に直面した共和政から独裁者が出てくる事例は近世以降のヨーロッパでも見られた。たとえばイングランドでは、王党派と議会派のあいだで内戦(内乱)がおり、1649年に国王が処刑されて共和政が樹立された(ピューリタン革命)。⁽³⁾だが、その後もクロムウェルと議会との対立など危機が続き、クロムウェルは次第に軍事独裁的な傾向を強めていった。⁽⁴⁾

フランス革命は革命勢力間の主導権争いと内外の反革命の動きを背景に複雑な経過をたどる。⁽⁵⁾1792年に王権が停止されて共和政が宣言された。ロベスピエール派を中心とする公安委員会による恐怖政治が急進化のピークであったが、ロベスピエール派の失脚にともない、1795年には穏健共和派の集団指導体制である総裁政府が成立した。だが、その後も内外の危機は続き、ナポレオン・ボナパルトによって独裁政権が確立されていく。⁽⁶⁾

第一次世界大戦中、ドイツで革命がおり共和政が成立した。成立当初のヴァイマル共和国は左右両派からの政治攻撃と経済問題に苦しめられたが、この危機は1920年代の半ばにひとまず安定化する。しかし、1929年にはじまった世界恐慌でヴァイマル共和国は深刻な政治的危機におちいり、その中でヒトラー率いるナチ党が台頭した。ヒトラーは1933年1月に首相に指名されると、わずか半年あまりで一党独裁体制を確立していった。⁽⁸⁾

問 1 下線部(1)について、共和政時代のローマにおいて毎年2名選ばれた最高官職の名称を答えなさい。

問 2 下線部(2)について、(ア)前 31 年にオクタウィアヌスがアントニウスを破った海戦の名前を答えなさい。(イ)アントニウスはエジプトの女王と結んでいたが、当時エジプトを統治していた王朝の名前を答えなさい。また(ウ)オクタウィアヌスが元老院から与えられた称号アウグストゥスの意味と、(エ)オクタウィアヌスが好んで用いたとされるプリンケプスの意味を、それぞれ答えなさい。

問 3 下線部(3)について、共和政の成立後クロムウェルはアイルランドへの侵攻を行っている。クロムウェルがアイルランドに侵攻した理由と、その結果アイルランドにもたらされた社会経済的な影響を説明しなさい。

問 4 下線部(4)について、(ア)1653 年にクロムウェルが就任した最高官職の名称と、(イ)ピューリタンとして革命の時代を生き、王政復古後に『失樂園』を著わした詩人の名前を答えなさい。

問 5 下線部(5)について、(ア)イギリスの首相ピットの提唱で 1793 年に結成された同盟と、(イ)同じく 1793 年にフランス西部地方で勃発した大規模な農民反乱の名称を答えなさい。

問 6 下線部(6)について、1799 年 11 月から 1804 年 5 月にいたるナポレオンによる独裁の確立過程を説明しなさい。

問 7 下線部(7)について、(ア)1923 年にフランスとベルギーがルールを占領した背景を説明しなさい。また(イ)ルール占領後のドイツの経済的混乱を收拾するため 1924 年に立案された計画の名称と、(ウ)ドイツに国際社会への復帰をもたらした 1925 年の条約の名称を答えなさい。

問 8 下線部(8)について、(ア)ヒトラーが首相に指名された時点の大統領の名前と、(イ)立法権を議会から政府に移した法の名称を答えなさい。

3 次の文章を読み、問いに答えなさい。

世界の人口動態は、18世紀半ばに転換点を迎えたとされる。それ以前の時代⁽¹⁾は、出生率・死亡率がともに高い「多産多死」の時代であり、人口増加のペースは緩やかだった。しかし、医療・公衆衛生の発達、教育をつうじた衛生知識の普及などにより、死亡率が低下し、人口は急速に増加しはじめた。また20世紀後半⁽³⁾には、南・東南アジアをはじめとする途上国において、作物の品種改良、化学肥料の導入、灌漑設備の拡充などの農業上の変革が起こった。これらの国々では、食糧生産が増大したことにより死亡率が低下し、人口増加が加速した。

人口大国である中国に目を向けると、中国の人口もまた、18世紀に大幅に増加したとされる。その背景には、清朝の治世のもとで政治が安定したほか、人びと⁽⁴⁾の定住地域が山地にまで拡大したことが挙げられる。⁽⁵⁾またこの時期には、人口増加の影響を受けて、海外への移住も活発化した。19世紀に入ると、はるか遠くのアメリカ合衆国⁽⁶⁾にも、多くの中国人移民が流入した。20世紀半ばの中華人民共和国の成立以後、人口が減少する局面⁽⁷⁾もあったが、今なお中国は、インドと⁽⁸⁾並ぶ世界最大の人口大国であり続けている。

問 1 下線部(1)について、中世の西ヨーロッパの荘園は、新たな土地利用法を導入したことにより、農業生産が増大し、人口も増加した。この土地利用法について説明しなさい。

問 2 下線部(2)について、19世紀後半に、細菌学を確立し、感染症の予防に貢献した二人の科学者の名前を答えなさい。

問 3 下線部(3)について、ここで言う「農業上の変革」は何と呼ばれるか、答えなさい。

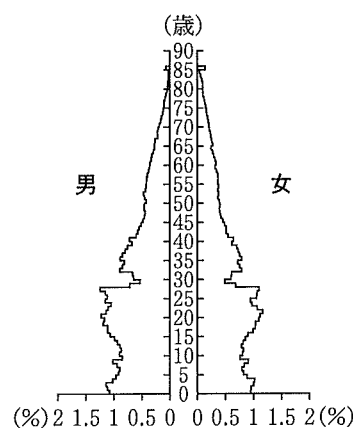
問 4 下線部(4)について、清朝が推進した税制改革によって、課税対象者の把握に変化が生じた。その点に言及しながら、この税制改革を説明しなさい。

問 5 下線部(5)について、(ア)18世紀の中国において、なぜ人びとが山地に定住できるようになったのかを、新作物の導入という観点から説明しなさい。また(イ)18世紀末に山間部でおこった宗教反乱について、その背景、地域、清朝政府への影響を踏まえながら、説明しなさい。

問 6 下線部(6)について、18世紀までの中国系の海外移民(すなわち華僑)の特徴を、主な出身地、移住先、従事した業種に着目しながら、説明しなさい。

問 7 下線部(7)について、19世紀半ばに、中国人移民を含む多くの人びとが、アメリカ合衆国の西部にひきつけられた。この人の流れをもたらした出来事を説明しなさい。

問 8 下線部(8)について、以下の図は1990年における中国の人口ピラミッドである(横軸は総人口に対する年齢別人口の割合)。これによれば、男性・女性ともに、30歳前後の人口の割合が、その前後の世代の割合よりも大幅に減少している。その理由について、ある政策の内容と影響を踏まえながら、説明しなさい。



若林敬子『中国 人口超大国のゆくえ』
(岩波新書, 1994年)37頁より抜粋